

令和5年度「町民まちづくり提案事業」検討結果一覧

・検討結果は①事業化、②既存事業あり、③継続検討、④見送りの4つに分類しています。

※1 「事業化」には、予算化せずに実施する事業、既存事業に取り入れる事業も含まれます。

※2 「既存事業あり」は、既の実施している事業です。

※3 「見送り」には、町民が主体となって実施されることが望ましい事業も含まれます。

No.	提案事業名	担当課	検討結果
1	結婚相談所	保健福祉課	既存事業あり
2	スクールバス	教育委員会管理課	見送り
3	町民主催イベントでの託児費用助成事業	保健福祉課	継続検討
4	町内会回覧板の電子化事業	総務課	継続検討
5	「町民まちづくり提案書」の作成補助事業	まちづくり推進課	継続検討
6	文化・スポーツサークルの情報集約及び発信事業	文化スポーツ課	事業化
7	動く井戸端「しゃべりバス」事業	まちづくり推進課	継続検討
8	町民主催イベントの開催ノウハウ提供事業	まちづくり推進課	事業化
9	遊休施設を再整備して地域に開放、置杵牛コミュニティ・カフェの開設と住民による運営	総務課 保健福祉課	継続検討
10	子育て世帯向け家事代行サービス	保健福祉課	既存事業あり
11	託児対象年齢の拡大(未就学児まで→小2まで)	保健福祉課	既存事業あり
12	美瑛高校給食プロジェクト(美瑛の食を活かした新たな魅力)	まちづくり推進課	継続検討

No.	提案事業名	担当課	検討結果
13	自然循環栽培の丘陵地での研究栽培(不耕起栽培含む)	農林課	見送り
14	介護福祉施設から廃棄される刈草の有効活用	まちづくり推進課 住民生活課	見送り
15	除草剤等の公共用地への使用禁止	住民生活課	見送り
16	光害(公害)の無い安全で快適な街づくり	建設水道課	見送り
17	自転車用ヘルメットの専用ロッカー設置について	総務課 まちづくり推進課	見送り
18	ふれあい体験農園	農林課	既存事業あり
19	Biei Global Lab.	まちづくり推進課	継続検討
20	議会の委員会や協議会の情報をホームページで提供	議会事務局	事業化
21	冬季の観光イベント事業	まちづくり推進課	見送り
22	町の人財活用事業	商工観光交流課 農林課	事業化
23	フェスの開催	文化スポーツ課	継続検討
24	ミニミュンヘン	まちづくり推進課 教育委員会管理課	見送り
25	まちのブランディングを見直す	まちづくり推進課 商工観光交流課	継続検討
26	家で子育てしている人の仕事探し等の補助事業	商工観光交流課	事業化

No.	提案事業名	担当課	検討結果
27	町内の小・中学校を住んでいる地域、支援のあり・なしに限らず選べるようにする事業	教育委員会管理課	見送り
28	住民と観光客、サイクリストにも優しい、おいしい空気の道案内事業	農林課	見送り
29	バンドの練習場提供事業	文化スポーツ課	見送り
30	バイクや車の騒音をどうにかする事業	住民生活課	既存事業あり
31	Mさんがやっている仕事ができる人の増員	教育委員会管理課	見送り
32	ドキュメンタリー映画「夢みる小学校」の学校上映のための補助事業	教育委員会管理課	見送り
33	子育て中の親が仕事よりも自分の子供との時間をつくれるよう、補助など	保健福祉課	既存事業あり
34	問題の根本を話し合える場・(人)づくり	まちづくり推進課	継続検討
35	講演会の講師などをまず町民から	文化スポーツ課	既存事業あり
36	予防医学の推進	保健福祉課	既存事業あり
37	農家などの畑での作業時・公道走行時のトラクター・トラック等の減光	農林課	見送り
38	町づくりの話し合いなどへの参加可能年齢の引き下げ	まちづくり推進課	継続検討
39	若者のPC等電子機器使用の際のメリット・科学的根拠のあるデメリットを提示・PC等を使わずとも学習できる体制にする(選択の自由を)	教育委員会管理課	見送り
40	体験型重視の学校の設立の検討	教育委員会管理課	見送り

No.	提案事業名	担当課	検討結果
41	ジブリッシュ(感情マネジメント)講座で、ストレスを緩和しましょう!	保健福祉課 文化スポーツ課	継続検討
42	笑いヨガ(英語名:ラフターヨガ)で、健康を手に入れましょう!	保健福祉課 文化スポーツ課	継続検討
43	心と体を鍛える「ZEN呼吸法」～仙骨を立てる姿勢の腹式呼吸で、体の不調を消しましょう	保健福祉課 文化スポーツ課	継続検討
44	食を大切にすまち美瑛! フードロスをなくそうプロジェクト	まちづくり推進課 農林課 教育委員会管理課	継続検討
45	「支え合えるまちづくり」～地域共生社会の実現に向けた研修会	まちづくり推進課 住民生活課	継続検討
46	美瑛の食材の美味しさを伝える試食会	まちづくり推進課	継続検討
47	イルミネーション・フォトコンテスト	まちづくり推進課	継続検討
48	温泉謎解きイベント	商工観光交流課	継続検討
49	アートツアー	文化スポーツ課	見送り
50	美瑛の美味しい、野菜を使ったチップス。	まちづくり推進課	継続検討
51	規格外品を売って食品ロスを減らす	まちづくり推進課	継続検討
52	自然を生かした藍染	まちづくり推進課 商工観光交流課	継続検討

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.1

<p>提案 事業名</p>	<p>結婚相談所</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>美瑛町では、現在社会福祉協議会に結婚相談所を開設し、結婚相談員による結婚相談業務を行っております。</p> <p>保健福祉課でも、令和4年度から婚姻を伴う新生活を応援するため、結婚新生活に係る住宅費・引越し費用を助成しております。以下の①～⑤すべて満たす場合、最大30万円（※夫婦ともに29歳以下の場合には最大60万円）を支給させていただいております。</p> <p>①婚姻届を提出し、受理された世帯 ②夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下であること ③対象となる住居が町内にあること ④夫婦の合計所得が500万円未満であること ⑤夫婦いずれも市町村民税を滞納していないこと</p> <p>また、上記事業に該当しない婚姻世帯に対し、町からのお祝いとして1万円分の電子地域通貨(Beコイン)を支給させていただいております。</p> <p>結婚をしたい、結婚を考えている方が良い方向に向かうよう、今まで以上に社会福祉協議会と保健福祉課が連携して、広報周知の強化等も行い、結婚支援を進めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.2

<p>提案 事業名</p>	<p>スクールバス</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>スクールバスは、児童生徒の登下校の為、文部科学省の「へき地児童生徒援助費補助金」を利用し、国の補助を受けバスを購入しています。子どもたちの登下校のため、登校時に1回、下校時に2回定期運行を行っており、その他、学校における教育活動にも使用しています。</p> <p>一方で、スクールバスは、国から住民の利用についても承認を得ており、一般の方の乗車も可能となっています。町内10路線運行している定期便のスクールバスのほか、保健福祉課では、町立病院の通院や買い物等に利用できる「ひまわりバス」も1日2便運行しておりますので、これらのバスをご利用下さい。</p> <p>少子高齢化により美瑛町の児童生徒数も減少している中、乗車人数も減少傾向にあります。スクールバスが町民の足となっている現状を踏まえ、今後もサービスの低下につながらないよう、様々な方策を検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.3

<p>提案 事業名</p>	<p>町民主催イベントでの託児費用助成事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>イベント等で交流し、人のつながりを持つことは、子育て世帯においても重要であることから、既存の一時預かり事業等においてご支援できるよう検討してまいります。</p> <p>(既存の一時預かり事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人 びえいくらしの助けあい 一時預かり事業 ・NPO法人 旭川NPOサポートセンター 上川中部緊急さぽねっと事業 <p>(いずれも、事前登録が必要で利用助成あり。)</p> <p>○町ホームページURL https://town.biei.hokkaido.jp/child/child-rearing/ichiziazukari.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.4

<p>提案 事業名</p>	<p>町内会回覧板の電子化事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>総務課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>回覧板の電子化には、電子化に対応するための町民の環境整備とニーズの把握が必要と考えます。 環境整備に向け、町公式LINE登録者の増加に取り組むとともに、電子回覧板のニーズ把握に努めます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.5

<p>提案 事業名</p>	<p>「町民まちづくり提案書」の作成補助事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>今年度においては、町民まちづくり提案事業につながる取組の一つとして、美瑛にあったら良いモノ・コトなどについてワークショップ形式で話し合う「美瑛あんなことこんなこと会議」を試行的に実施しました。ワークショップの開催後も、参加者の方々と個別でお話を伺うなどし、昨年度よりも提案件数は大幅に増加いたしました。</p> <p>しかしながら、行政が行う事業に対する提案という性質上、町民の皆さまにとって提案のハードルが高いことは、町としても重々承知しております。</p> <p>現在、町民の皆さまのご意見をより多く拾い上げ、事業の実現につなげるため、町民まちづくり提案事業の制度自体の見直しを図っており、どのような形で実施するのが町民の皆さまによってより良いのか模索しております。制度の見直しとともに、作成補助についても引き続き検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.6

<p>提案 事業名</p>	<p>文化・スポーツサークルの情報集約及び発信事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>公共施設を定期利用されている文化・スポーツサークルの情報は集約できておりますので、今後、各サークルに会員募集等の希望を聞き取りし、広報紙・ホームページや公共施設への掲示等進めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.7

<p>提案 事業名</p>	<p>動く井戸端「しゃべりバス」事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>町としても、自治会や地域コミュニティの衰退は、解決していかなければならない課題と認識しており、町民の皆さまとどのような形で連携しながら解決に向けた施策を進めていくか模索しているところであります。</p> <p>今回ご提案いただいた内容は、家庭環境や身体状況にかかわらず、多世代の方の交流が可能となる施策であると思われませんが、財源の確保、運転手の確保、法令の整理、誰もが利用できるようバリアフリーの機能をどう持たせるといったクリアしなければならない課題が多く、実装に向けた協議には時間を要しますので、現時点では行政区会館の活用をお願いいたします。</p> <p>今後も多世代の方々の交流の場の創出、ご自身での移動が困難な方に対する移動手段の支援について、引き続き検討を行ってまいります。</p> <p>子育て世代の方のコミュニティへの参加促進については、他の施策と複合的に対策を検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.8

<p>提案 事業名</p>	<p>町民主催イベントの開催ノウハウ提供事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>ご提案いただいたような形でイベントの運営イメージを作成するとともに、「地域振興奨励補助事業」をはじめとした、町民の皆さまに活用いただける補助金についても、町ホームページ等で掲載いたします。 掲載内容・発信方法等については町民の皆さまにご意見を伺いながら、作成・更新を行います。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.9

<p>提案 事業名</p>	<p>遊休施設を再整備して地域に開放、置杵牛コミュニティ・カフェの開設と住民による運営</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>総務課、保健福祉課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>置杵牛保育所については平成元年11月に建築しましたが、利用児童の減少等により平成21年からは休園しています。閉園の是非についてや事業実施に向けては、地域内の合意形成が重要と考えております。</p> <p>行政として事業化に向け伴走して行くことは可能と考え、地域一括交付金(仮称)において活動経費に活用できるような地域課題解決経費(仮)の検討を行うほか、地域振興奨励補助等を活用した地域主体の取組として実施に向けた検討をお願いします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.10

<p>提案 事業名</p>	<p>子育て世帯向け家事代行サービス</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>核家族化が進み、子育ての協力を頼める人がそばにいない世帯は多く、ひとり親や療養等で家事代行が必要な場合等に支援員を派遣しています。しかし、支援者不足により十分な体制になっていないため、引き続き体制強化に努めます。</p> <p>(既存の家事支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等生活支援事業 <p>(社会福祉法人 美瑛町社会福祉協議会へ委託。所得に応じた費用負担。)</p> <p>○町ホームページURL https://town.biei.hokkaido.jp/child/child-rearing/hitorioyashien.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.11

<p>提案 事業名</p>	<p>託児対象年齢の拡大(未就園児まで→小2まで)</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>町民の方々が地域と交流いただくことは、大変重要なことと認識しています。集団託児はございませんが、緊急さぽねっと事業では就学児の託児も行っており、事前登録いただくことで利用できます。 (既存の一時預かり事業) ・NPO法人 旭川NPOサポートセンター 上川中部緊急さぽねっと事業 (いずれも、事前登録が必要で利用助成あり。)</p> <p>○町ホームページURL https://town.biei.hokkaido.jp/child/child-rearing/ichiziazukari.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.12

<p>提案 事業名</p>	<p>美瑛高校給食プロジェクト(美瑛の食を活かした新たな魅力)</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>美瑛高校の入学者数の減少を受けて、高校と町との連携を更に強化し、現在、魅力化に向けて協議を行っております。高校のカリキュラムは3か年計画で決められているため、授業に組み込むには早い段階での検討が必要になりますので、いただいたご提案を高校魅力化の可能性の一つとして、美瑛高校及び北海道教育委員会と実施の可否について協議を重ね検討してまいります。</p> <p>なお、今現在も美瑛高校では、食関連の事業者から講話を受けたり、インターン等で現場体験を行ったりと、食に関連した取組は行われているため、そういった取組が広く知られるよう発信方法等、美瑛高校と検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.13

<p>提案 事業名</p>	<p>自然循環栽培の丘陵地での研究栽培(不耕起栽培含む)</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>農林課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>ご提案のとおり農地における炭素貯留効果は近年注目されており、国のJクレジット制度においては水田の中干期間の延長等が対象の取組として位置付けられているほか、欧米と同様にカバークロップ(緑肥)等を対象の取組とした民間企業のカーボンオフセット等が運用されるなど、少しずつ生産者が取り組みやすい環境が整いつつあります。</p> <p>一方で、農業生産は経済活動でもあるため、慣行栽培と比較して、収量や品質に影響がないことを確認する必要があり、研究機関、農業関係機関等において調査、研究が進められています。現在、本町では北海道の農業改良普及センターが携わりながら、生産者の圃場において水田の中干期間延長についての実証が進められていますが、その他の取組を含めて地域全体で環境に配慮した営農技術の導入を推進する場合には、必要に応じて関係者と協議しながら、農業研修センターの試験圃場を利用するなどして検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.14

<p>提案 事業名</p>	<p>介護福祉施設から廃棄される刈草の有効活用</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、住民生活課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>介護福祉施設に限らず、公園や学校、屋外スポーツ施設などの公共施設を管理する上で排出された刈草については、現状は焼却処分しております。既に他県においては、道路や公園等の管理作業において排出される刈草を堆肥化する実証実験が行われていることは承知しておりますが、刈草を保存・乾燥するための場所(ストックヤード等)の確保や、ゴミなどの不純物を除去する煩雑さなどの課題もございますので、他県の先進事例などを調査した上で、事業化の可能性を模索してまいります。</p> <p>なお、提案者様が自家用として、介護福祉施設ほか各公共施設等の刈草の活用をご検討されていらっしゃる場合は、それぞれの施設管理者に直接ご連絡の上、刈草の引き取りをお願いいたします。</p> <p>○公園刈草の堆肥化有効利用について(国土交通省四国地方整備局) https://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/kenkyu/h30/ronbun/I-29.pdf</p> <p>○高校生が雑草を堆肥にする取り組み 野菜作りの実証実験へ(NHK NEWS WEB) https://www3.nhk.or.jp/lnews/tokushima/20231021/8020018840.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.15

<p>提案 事業名</p>	<p>除草剤等の公共用地への使用禁止</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>住民生活課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>除草剤等の使用につきましては、使用上の注意を守り、適切な使用に努めていただくよう周知するため、農政部局、道路・公園管理部局、教育部局に対して、あらためて平成25年の環境省通知を共有いたします。</p> <p>引き続き、町民の皆さまや関係機関と協働しながら、第6次美瑛町まちづくり総合計画に掲げる「安全で安心してらせるまち」であり続けられるよう努めてまいります。</p> <p>○「住宅地等における農薬使用について」(平成25年4月26日付け環境省水・大気環境局長及び農林水産省消費・安全局長通知) https://www.env.go.jp/water/noyaku/hisan_risk/jutakku_noyakushiyo.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.16

<p>提案 事業名</p>	<p>光害(公害)の無い安全で快適な街づくり</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>建設水道課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>公設街路灯につきましては、従前設置していた水銀灯が生産終了となったこと及び電気代の削減等ゼロカーボンの観点から、令和元年度より市街地から順次LED化を進めております。</p> <p>また、街路灯は、道路の安全対策として、照度基準等に基づき適切な照明環境を確保するとともに、環境にやさしい明るい歩行空間を創出するべく設置しておりますので、ご理解いただきたくよろしく申し上げます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.17

<p>提案 事業名</p>	<p>自転車用ヘルメットの専用ロッカー設置について</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>総務課、まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>専用ヘルメットの設置については、利用者のニーズ等を踏まえた上でJRとの協議を要しますが、駅の規模もそれほど大きくないため、現状はヘルメットホルダー等での対応を推奨したく考えております。 ヘルメットの着用促進に向けては、広報や町ホームページにより啓発活動に取り組んでまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.18

<p>提案 事業名</p>	<p>ふれあい体験農園</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>農林課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>本町では農業技術研修センターみのりにおいて「町民農園」として1区画50m²を年間2,100円(5～10月)で貸付しています。例年広報紙4月号にて利用者の募集をしていますので、ご確認いただくか、一般財団法人美瑛町農業振興機構にお問合せ願います。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.19

<p>提案 事業名</p>	<p>Biei Global Lab</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>ご提案の事業につきましては、横浜市保土ヶ谷区「ほどがや国際交流ラウンジ」で開催している食の国際交流イベントが類似事例になるかと存じます。本事例は、同区を中心とした地域に住む外国人の支援と、外国人と日本人の交流の場を提供している同ラウンジの取組の一つです。</p> <p>本町内には様々な国籍の方が居住しており、町民との相互理解を深めることは双方にとって有意義なことと認識しております。</p> <p>事例でお示したような事業に、地域に居住する外国人の方が講師となっただけのでしたら、実施の可能性は多分にあるものと存じますが、まずは、サロンのような異文化交流の場でそうしたニーズの掘り起しや機運を醸成し、そのうえで料理や趣味、スポーツ等の様々な分野での交流に広がっていくことが得策と捉えています。</p> <p>町内におけるサロンの取組としては、移住者と町民が会員となっている「丘のまちびえい移住定住促進協議会」が行っている「移住定住サロン」が参考になります。同サロンでは、会員相互の日常的な交流と情報交換の場として、月1回、気軽に集えて町民や移住者、移住検討者が繋がることのできる環境づくりを行っており、会員相互の発案から山登りの会、テニスの会、料理の会など、自然発生的に活動が広がっています。</p> <p>このサロンの場として、丘のまち交流館ビ・エールが活用されておりますので、町民と外国の方との交流の場としても同館を活用いただけるほか、同館では募集告知などの支援を行うことができます。講師の候補者や同様の取組に関する機運がございましたら、ご紹介いただけますと幸いです。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.20

<p>提案 事業名</p>	<p>議会の委員会や協議会の情報をホームページで提供</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>議会事務局</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>今後実施する予算・決算審査特別委員会及び本会議において、付託審査を受け実施する総務文教常任委員会、産業経済常任委員会の議事録について、令和6年度よりホームページ内において公開します。 基本的に議事録を作成しているものについては公開いたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.21

<p>提案 事業名</p>	<p>冬季の観光イベント事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>今回ご提案いただいた内容は収益事業であり、公益性が担保できないため、町の事業としての実施や補助金の交付は難しく、町民の皆さま自身で実施をいただけることが理想と考えております。</p> <p>実施にあたっては、公益財団法人等が運営する補助金の調査やご紹介は可能ですので、提案者様におかれましても、運営主体となられる場合はご相談いただければと存じます。</p> <p>なお、収益事業ではなく公益事業としての実施が可能で、地域の振興に資する取り組みであると審査会にて認められた場合、町から補助金を交付させていただく「地域振興奨励補助制度」がございます。</p> <p>地域のイベントとして実施する場合活用できる可能性がございますので、ご検討いただければと存じます。本制度の詳細は、町ホームページをご確認いただくか、まちづくり推進課にご連絡願います。</p> <p>○町ホームページURL https://town.biei.hokkaido.jp/administration/administration/shien.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.22

<p>提案 事業名</p>	<p>町の人財活用事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>商工観光交流課、農林課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>町では、無料職業紹介所の業務を担っており、昨年から広報紙及び町ホームページを活用し求人情報の公開を実施しているところです。現在、30以上の求人情報を掲載しておりますが、これにより就職が決まったという例も少なくなく、また各事業所からの要望も多いことから、今後も継続して事業を推進していくこととしています。</p> <p>今回ご提案の求職者の登録制につきましては、個人情報扱いや各事業所とのマッチングの方法など様々な検討が必要であるとは思いますが、他町でも取り組んでいる例があり、更なる人材確保につながる可能性が高いことから、新年度中の事業化に向けて取り組んでまいります。</p> <p>なお、農業分野においては、美瑛町農業協同組合が株式会社デイワークス社のアプリ(1日農業バイト)を用いて生産者と求職者のマッチングを行っており、十分とはいえない状況ではありますが、ある一定の人材は確保されている状況にあります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.23

<p>提案 事業名</p>	<p>フェスの開催</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>町では、人形劇・落語や音楽コンサート等、子どもからお年寄りが楽しみながら文化・芸術に触れられる事業を実施しており、多くの方に好評をいただいております。また、近年町民有志のクリスマスコンサートやダンス発表会等、町民主役のイベントも増えてきており、町としてはそれらの活動を支援していきたいと考えております。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.24

<p>提案 事業名</p>	<p>ミニミュンヘン</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、教育委員会管理課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>ミニミュンヘンの活動は、一時的な仮想の公共空間を創り、その中で子どもたちの自治活動により、自身の自立と規範意識を養うものと認識しています。このような空間を整備するためには、様々な立場(職業)の方が関わる必要があります。他の事例同様に、NPOなどがその主体となって実施することが望ましいと考えます。</p> <p>しかしながら、子どもたちの自治意識の醸成は行政としても重要であると考えておりますので、NPOなどの実施可能な団体との連携を検討するとともに、ミニミュンヘンとは異なる形となりますが、子どもたちが自治を学べるような機会の創出を図ってまいります。</p> <p>なお、町民が主体となって地域の振興に資する取り組みを行う場合、審査を経て町から補助金を交付させていただく「地域振興奨励補助制度」がございます。提案者様におかれましても、運営主体としてミニミュンヘンを実施いただける場合、本制度をご活用いただける可能性がございますので、ご検討いただければと存じます。本制度の詳細は、町ホームページをご確認いただくか、まちづくり推進課にご連絡願います。</p> <p>○町ホームページURL https://town.biei.hokkaido.jp/administration/administration/shien.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」 事業化に向けた検討の意見概要

No.25

<p>提案 事業名</p>	<p>まちのブランディングを見直す</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、商工観光交流課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>美瑛プレミアムブランド「ビエイティフル」は、2016年に5商品を初の認定商品としてスタートし、現在までに23商品を認定し、ホームページ、イメージ映像放映、リーフレットや生産者紹介パネルなどのプロモーションを行っております。</p> <p>認定商品自体が、認定以前から「思い」「こだわり」「物語」によって強くブランド化されている一方、現状でビエイティフルは統一ブランドとして効果的なプロモーションができていないため、専門家の視点を入れながら認定商品の価値をさらに高めていくための方策を講じてまいります。</p> <p>道の駅の活用としては、町内の2か所の道の駅相互の利用を促進するためのコンサルティング業務を委託し、立地環境等それぞれの特徴を活かした差別化を進めてまいります。また、新たな商品開発、統一感のあるデザイン、ライティングや陳列などの改善に取り組み、観光等で訪れる方に満足していただける道の駅づくりを目指します。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.26

<p>提案 事業名</p>	<p>家で子育てしている人の仕事探し等の補助事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>商工観光交流課、保健福祉課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>今回のご提案を拝見し、「お子様が学校へ行っている間に働ける場所を知りたい」といった課題を承知しました。この課題(ご要望)につきましては、恐らく多くの皆さま、特に子育てをされている皆さまがお考えになられていることと予想されます。</p> <p>町では、無料職業紹介所の業務を担っており、現在、多くの事業所の求人情報を広報紙やホームページで公開しているところですが、人手不足は大きな問題となっておりますので、働きたい方の都合に沿った短時間(不規則)就業等が可能かどうか各事業所に聞き取りした上で、あわせて公開できるよう現状の改善を検討してまいります。</p> <p>また、補助金等の支援については、これまで国の制度の他、町の独自施策を推進してまいりました。引き続き、町民の皆さまが安心して子育てができる環境づくりを行ってまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.27

<p>提案 事業名</p>	<p>町内の小・中学校を住んでいる地域、支援のあり・なしに限らず選べるようにする事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>本町では、住民基本台帳を基に、教育委員会が就学すべき学校を指定しています。一方で、相当の理由があると認められる場合は、保護者の申し立てにより、就学すべき学校を変更することができ、この相当の理由は教育委員会が定めています。</p> <p>通学する者が、自分の意思により域内の学校を選択する方法については、「学校選択制」とよばれており、都会のように域内に複数の学校を持つ教育委員会で採用されています。この方法を採用するためには、都会のように、域内をまたぐ通学のための交通手段が確保されなければならない、行政区域の広い本町においては、課題が多いと思われれます。</p> <p>学校の児童数確保という面では、学校選択制に利点も存在しますが、反面、へき地から学校が無くなるという恐れもあり、現時点での学校選択制の導入は難しいと判断します。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.28

<p>提案 事業名</p>	<p>住民と観光客、サイクリストにも優しい、おいしい空気の道案内事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>農林課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>農作業の全般は営農計画に沿って進められており、主に5月から8月にかけて防除のため農薬散布が各地区で行われています。ただし、各生産者は天候や生育状況を見ながらその日の作業内容を判断することになるため、特定の圃場の作業日や時間帯を正確にお知らせすることは極めて難しいです。</p> <p>農薬散布に際しては、地域住民の皆さまをはじめ、作業中の圃場の近隣を通行される方に配慮いただけるよう、生産者の皆さまにお願いしてまいりたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.29

<p>提案 事業名</p>	<p>バンドの練習場提供事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>サークル活動として町民センターの貸館を行っており、ご自身で楽器を用意できる方は、美丘ホールをご利用いただけます。 楽器の調達に関しては、ご提案内容を受け止め、町民の皆さまからのニーズに高まりがあると判断された場合、管理体制も含め検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.30

<p>提案 事業名</p>	<p>バイクや車の騒音をどうにかする事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>住民生活課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>バイクや車の騒音対策につきましては、防災行政無線、広報紙、公式LINE等を通じて、モラルやマナーを守って走行していただくように啓発しているところです。また、美瑛交番にも適宜情報を共有し、必要な対応を講じていただくよう連携しております。</p> <p>引き続き、町民の皆さまや関係機関と協働しながら、第6次美瑛町まちづくり総合計画に掲げる「安全で安心してらせるまち」であり続けられるよう努めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.31

<p>提案 事業名</p>	<p>Mさんがやっている仕事ができる人の増員</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>近年、児童や生徒、保護者から寄せられる相談の内容は、家族関係や内面的なものなど、複雑で専門的な知見を要するものが増えています。美瑛町教育委員会としては、スクールカウンセラーによる個々の悩みへの相談や、スクールソーシャルワーカーにより、社会資源を活用し解決までの道筋を示すなど、専門的で効果的な悩みの相談体制を構築しているところです。</p> <p>一方ご意見をいただいたとおり、当委員会にも心理に関する資格を保有している者もいることから、これらの知見が各小中学校において児童生徒の相談に活かされるよう、本人を講師として校内研修なども実施しているところです。</p> <p>教育に関する相談は、相談者が気軽に学校や教育委員会に相談できる雰囲気最も重要です。縦割りの行政とならぬよう、学校・教育委員会・福祉担当部局などが連携し、町民の皆さまが最も話しやすい窓口で、不安や悩みに寄り添うことのできる体制を構築してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.32

<p>提案 事業名</p>	<p>ドキュメンタリー映画「夢みる小学校」の学校上映のための補助事業</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>文部科学省選定映画「夢みる小学校」は、令和5年3月に町民有志による自主上映会という形で実施され、多くの方に視聴いただいたと認識しています。</p> <p>この際、美瑛町教育委員会も後援という形で協力させていただき、町内の小中学校に通う全ての児童生徒にチラシを配布し、本映画の上映について周知したところです。</p> <p>また、町からは活動費の一部を実行委員会に対して補助するなど、ソフト面と金銭面の両面から、本映画の上映を支援させていただきました。</p> <p>教育委員会では、これら文部科学省の選定映画が広く町民の目に触れることは好ましいと考えており、本映画で描かれている、子どもたちの自由な発想と好奇心に基づき、成功や失敗の体験を繰り返し成長していく様は、現在の学習指導要領に通じるものと思われます。本町の学校教育においても、様々な活動を通じて、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」につながる教育活動を進め、全ての子どもたちの可能性を伸ばしてまいります。</p> <p>なお、金銭面の補助については、実施主体の活動の目的や内容などを総合的に判断しており、申請のあった都度、判断していくことになろうかと思ひます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.33

<p>提案 事業名</p>	<p>子育て中の親が仕事よりも自分の子供との時間をつくれるよう、補助など</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>子育てにおいては、喜びも悩みも様々あると思いますが、悩みを一人で抱えず、家庭や地域、子育て機関などの相談支援を受けながら、子育てに向き合っていただきたいと思います。</p> <p>子育て支援については、これまで国の制度の他、町の独自施策を推進してまいりました。この先も相談窓口やサービスをわかりやすくご紹介し、子育て講演会の実施等も検討いたしますのでご利用下さい。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.34

<p>提案 事業名</p>	<p>問題の根本を話し合える場・(人)づくり</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>令和5年4月から施行した美瑛町自治基本条例の理念に従い、今年度11月には町が事務局となり、町民の皆さまで構成される自治推進委員会を発足しました。自治推進委員会では、町民の意見をより多く拾い上げ、町政に反映する方法等を審議しており、話し合いの場づくりに関しても検討すべき課題の一つとなっています。</p> <p>提案者様の仰るとおり、美瑛町には課題が山積しており、それらを対処療法ではなく、根本から解決することが重要と認識しております。これまでも、課題解決に向けた話し合いの場は、必要性に応じ案件ごとに個別で設けてまいりましたが、今後においても、案件の内容に応じて場づくりを行い、その他の手法も用いながら町民の皆さまの意見を反映させた施策を検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.35

<p>提案 事業名</p>	<p>講演会の講師などをまず町民から</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>講師の選定はテーマによって、人材バンクに登録いただいている方の中で適した方がいればその方をお願いしておりますが、専門的なテーマの場合は、町外の方をお願いすることが多いのが実情です。 今後は、人材バンクの拡充と共に町民の皆さまの活動を発表できる機会の創出を検討してまいります。</p>

<p>提案 事業名</p>	<p>予防医学の推進</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>主な 意見 の 概 要</p>	<p>地域の課題として、医療の現場のひっ迫、コロナ以外の感染症の蔓延、生活習慣病の増加等に着目し、まちづくりに提案いただきありがとうございます。</p> <p>美瑛町では美瑛町健康増進計画に基づき、感染症や生活習慣病など疾病の発症予防・重症化予防活動について保健センターを中心に実施しています。予防活動の目的は疾病の発症予防・重症化予防ですが、その先にある目標は、健康寿命の延伸、そして持続可能な社会保障制度に向けて行っている活動であると捉えています。</p> <p>町民の皆さまお一人お一人が予防活動に目を向け、取り組めることから取り組んでいただけるよう、町広報紙、ホームページ、また講演会の開催などを通して知識の啓発活動を行うほか、各種健康診断、保健指導、出前講座等の健康教育などの様々な保健予防活動を行っています。</p> <p>情報の提供につきましては、情報の多様化に伴い科学的根拠に基づいた正しい情報、そして公益性、公共性が確立されている情報を精査して提供するよう心がけています。</p> <p>情報の提供方法については、SNSなど様々な方法があると思います。時代に沿った、町民の皆さまに分かりやすく届く方法を今後も研究し、体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>小さなことの積み重ねではありますが、疾病予防に目を向けることが、医療現場のひっ迫の解消、健康寿命の延伸、医療費増加の抑制につながりますので、引き続き、保健予防活動を推進してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.37

<p>提案 事業名</p>	<p>農家などの畑での作業時・公道走行時のトラクター・トラック等の減光</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>農林課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>ご指摘のとおり公道走行時に後方の作業灯を点灯することは、後続車両の走行を妨げ、事故にもつながるおそれがありますので、生産者の皆さまに対して注意喚起を図ってまいります。</p> <p>一方で、日没後の圃場での作業時においては、安全を確保するために一定の光量が必要になりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.38

<p>提案 事業名</p>	<p>町づくりの話し合いなどへの参加可能年齢の引き下げ</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>まちづくりの話し合いの場においては、幅広い年齢層の方に参加いただき、町民全員でまちづくりを推進していくことが重要と考えております。</p> <p>現状、町としては、若年層の町政への参加を積極的に図っており、各種委員会等の委員の募集にあたっては、会議等の性質を踏まえた上で、年齢制限の設定をどうしても避けられない状況を除き、未成年を対象としているケースもございます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.39

<p>提案 事業名</p>	<p>若者のPC等電子機器使用の際のメリット・科学的根拠のあるデメリットを提示・PC等を使わずとも学習できる体制にする(選択の自由)</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>学校教育においては、令和2年度からGIGAスクール構想に基づき、児童生徒全員に情報端末「Chromebook」を配備するなど、教育の分野においてもデジタル化が進んでいます。</p> <p>また、チャットGPTなど生成AIの利用に当たっては、結果を安易に鵜呑みにすることなく、疑問点を自身で考え、様々なツールを用いて分析し、最終判断を導くという基本姿勢が一層求められています。</p> <p>インターネットや生成AIなどの中には、便利なツールである半面、真偽が疑わしい情報も数多く存在しており、これらの真偽を確かめる能力も重要です。</p> <p>日本は少子高齢化や、それに伴う人口減少が一層進むことが見込まれています。次世代を生きる子どもたちにとっては、情報活用能力の向上が必要不可欠であり、電子機器やAIなどが持つ利点や課題点を十分理解し、成長段階にふさわしい情報活用能力が身に付くよう、情報モラルも含め学校教育で指導していきたいと考えています。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.40

<p>提案 事業名</p>	<p>体験型重視の学校の設立の検討</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>教育委員会管理課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>児童生徒の体験的な学習は、自身で疑問を見出し、深く考え結論を導き出す、主体的な学びの根幹とも言える活動です。</p> <p>本町の小学校では、各校で実施している修学旅行や宿泊研修はもとより、ふるさと学習の中で自然体験や防災施設の見学など、町として多くの体験的な学習を取り入れています。</p> <p>これらの体験で感じたことや疑問点などについて、互いに意見を出し合い、考えをまとめ上げる場合、ICT機器は非常に有効な手段です。</p> <p>今後も、学習指導要領を基本とし、教室内での学習と屋外で行う体験的な学習を組み合わせた指導を進めます。</p> <p>また、教科学習・体験的な学習・ICT機器を活用した学習には、それぞれに利点があり、これらを上手に組み合わせることで、子どもたちが学びを実感でき、より探求的な学びにつながるよう、指導の内容を工夫してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.41

<p>提案 事業名</p>	<p>ジブリッシュ(感情マネジメント)講座で、ストレスを緩和しましょう！</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課、文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>様々な健康法がある中で、町の保健事業はエビデンスに基づく情報を基本とし、「ストレス」や「睡眠」に関する普及啓発を図っているところであります。食事や睡眠といった生活習慣の乱れが心身の健康に大きな影響を与えると認識しており、今後も乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた生活習慣の改善や確立に向けた支援を継続してまいります。また、町民の主体的な健康づくりへの支援方法については、今後も検討してまいります。</p> <p>公民館事業においても、町民の皆さまのニーズがあり、しっかりと指導できる方がいれば、ZOOM等の活用も含め、次年度以降の教室等の開催を検討いたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.42

<p>提案 事業名</p>	<p>笑いヨガ(英語名:ラフターヨガ)で、健康を手に入れましょう!</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課、文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>様々な健康法がある中で、町の保健事業はエビデンスに基づく情報を基本とし、「ストレス」や「睡眠」に関する普及啓発を図っているところであります。食事や睡眠といった生活習慣の乱れが心身の健康に大きな影響を与えると認識しており、今後も乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた生活習慣の改善や確立に向けた支援を継続してまいります。また、町民の主体的な健康づくりへの支援方法については、今後も検討してまいります。</p> <p>公民館事業においても、町民の皆さまのニーズがあり、しっかりと指導できる方がいれば、ZOOM等の活用も含め、次年度以降の教室等の開催を検討いたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.43

<p>提案 事業名</p>	<p>心と体を鍛える「ZEN呼吸法」～仙骨を立てる姿勢の腹式呼吸で、体の不調を消しましょう</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>保健福祉課、文化スポーツ課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>様々な健康法がある中で、町の保健事業はエビデンスに基づく情報を基本とし、「ストレス」や「睡眠」に関する普及啓発を図っているところであります。食事や睡眠といった生活習慣の乱れが心身の健康に大きな影響を与えると認識しており、今後も乳幼児から高齢者まで、ライフステージに応じた生活習慣の改善や確立に向けた支援を継続してまいります。また、町民の主体的な健康づくりへの支援方法については、今後も検討してまいります。</p> <p>公民館事業においても、町民の皆さまのニーズがあり、しっかりと指導できる方がいれば、ZOOM等の活用も含め、次年度以降の教室等の開催を検討いたします。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.44

<p>提案 事業名</p>	<p>食を大切にすまちびえい！フードロスをなくそうプロジェクト</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、教育委員会管理課、農林課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>提案内容に関して、給食における食材の量の決定や食育授業などによる食への感謝、食の重要性に関する指導が既に学校現場において行われており、フードロス削減に向けた意識づけが進められているところであります。また、ゼロカーボンの観点からも、町内における残渣の有効活用について検討を行っております。</p> <p>令和5年度においては、食品ロス削減セミナーを開催し、食品ロス問題の解決に向けたセミナーを開催しており、今後も引き続き食品ロス削減に向けた取組を推進してまいります。</p> <p>地域の生産者と実需者、消費者の交流による意見交換会、勉強会等の開催については、農林水産省予算の「食育の推進と食文化の保護・継承」の枠組で取組(地域の関係者が連携して取り組む食育活動等)に対して支援できる可能性もありますので、具体的な取組の実施を計画される際には農林課までご相談願います。</p> <p>学校給食については、学校給食摂取基準によって必要な栄養素が定められており、一人一人の成長に必要な栄養素が摂取できるよう、献立を考え給食を提供しています。</p> <p>また、給食は栄養面を基本に食材の量が決められ、数日前には必要な食材の発注を終えており、前日又は当日に食材が納入されている状況にあります。</p> <p>量の面からいえば、児童生徒全員が登校することを想定し、全員が残さず食べることを前提とした量を調理し各学級に配膳しています。</p> <p>このため、提案者が言われるように、学校給食では、当日、学校を休んでしまった児童生徒分の給食や、体調不良や本人の嗜好により残食として残ってしまった食材が一定程度廃棄されています。</p> <p>フードロス自体は、決して望ましいことではなく、学校も食育授業や総合的な学習などで、食のありがたみや生産者への感謝の念が芽生えるような授業を行っており、普段の生活からフードロスを減らすよう心がけてもらうことが必要であると考えます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.45

<p>提案 事業名</p>	<p>「支え合えるまちづくり」～地域共生社会への実現に向けた研修会</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、住民生活課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>令和3年度に「美瑛町共有ビジョン」を策定し、町の施策の根幹となる7つの柱を掲げました。柱の一つである「誰もが健康でともに支えあい、安心して住み続けられるまち」の実現を目指しており、世代や家庭環境に左右されず、誰もが安心できる住環境の整備は重要な課題であると考えております。</p> <p>都市部においては、「ミクストコミュニティ」や「コレクティブハウス」といった幅広い世代の世帯がともに生活し、それぞれが独立した専用の住居とみんなですべて使ういくつかの共用スペースを持ち、生活の一部を共同化しながら、自分や家族の生活は自立しつつも、血縁にこだわらない広く豊かな人間関係の中で暮らす住まいのかたちを実践している事例があることは承知しております。</p> <p>上記の先進事例等を調査し、また、町民の皆さまのニーズの把握に努めるとともに、活用できる補助金等についても調査し、共生型の住まいの運営可能性や研修会の開催を模索するよう継続検討してまいります。</p> <p>○ミクストコミュニティ https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001595565.pdf</p> <p>○コレクティブハウス https://chc.or.jp/collective/index.html</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.46

<p>提案 事業名</p>	<p>美瑛の食材の美味しさを伝える試食会</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な意見の概要</p>	<p>これまで美瑛町では、どかんと農業まつりをはじめとした町内イベントや都市部での物販で美瑛の農産物の魅力発信を行っています。それらの取組もあって、美瑛町は全国でも有数の食料生産基地として広く知られるようになってきました。</p> <p>お祭りなど町内外から多くの人が集まるイベントで美瑛産の食材を使用した料理の試食会を実施することで、美瑛の食材の魅力を幅広い層の方に知っていただくことができ、観光客や関係人口の増加につながる可能性があると考えます。イベントは、生産現場や生産者について発信することで、消費者が安心して商品を手にとることができ、リピーターにつながるなど、様々な波及効果も期待できます。</p> <p>いただいたご提案をどのような形で実現できるか検討を進めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.47

<p>提案 事業名</p>	<p>イルミネーション・フォトコンテスト</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>美瑛の観光入込は夏季に集中し、冬には大きく減少してしまうことが長年の課題となっており、冬の美瑛の魅力をどのように発信するか模索を続けている状況です。</p> <p>これまで町の関連団体等で景観や人々の営みを題材にしたフォトコンテストは実施されてきましたが、“冬の美瑛”に特化したフォトコンテストはあまり例がなく、イルミネーションなどを上手く活用することで、冬の美瑛の魅力発信につながる可能性があると考えます。</p> <p>ご提案内容をどのような形で実現できるか検討を進めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.48

<p>提案 事業名</p>	<p>温泉謎解きイベント</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>商工観光交流課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>本町は、観光入込者数に比べ宿泊者数の割合が少ないことを長年の課題として認識しております。</p> <p>今回ご提案いただいたイベントにつきましては、白金温泉への来訪者や宿泊者を増加する可能性がある取組と考えます。</p> <p>現在、令和6年度に白金温泉街にある観光センターを改修し、ネイチャーセンターとして活用する計画があります。ネイチャーセンターでは、十勝岳山麓の自然を生かしたガイドツアーなど各種体験事業や備品の貸し出し等を実施する予定ですので、謎解きの要素を含めた体験事業やイベントとして実施できるかを検討してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.49

<p>提案 事業名</p>	<p>アートツアー</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>文化スポーツ課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>町民センターでは収益性を求めるような観光客向けアートツアーの企画はできませんが、ご提案のような人と人、人と場所をつなぐことで新たな芸術の可能性を生み出すヒントとさせていただき、まずは町民を対象に心を豊かにする美瑛の芸術の魅力を発信する取組から始めさせていただきます。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.50

<p>提案 事業名</p>	<p>美瑛の美味しい、野菜を使ったチップス</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>これまで美瑛町では、どかんと農業まつりをはじめとした町内イベントや都市部での物販や農協などによるブランディングの取組により、美瑛の農産物の魅力発信を行っており、その成果により美瑛町は全国でも有数の食料生産基地として広く知られるようになってきました。</p> <p>野菜の皮まで余すことなく使った料理等を町内外の方に提供することは、美瑛の食の美味しさを伝えられるだけでなく、食品ロスの削減によるSDGsの取組やゼロカーボンの推進にもつながると考えます。</p> <p>いただいたご提案をどのような形で実現できるか検討を進めてまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.51

<p>提案 事業名</p>	<p>規格外品を売って食品ロスを減らす</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課</p>
<p>主な 意見の 概要</p>	<p>食品ロスを減らす取組は、SDGsやゼロカーボンの観点からも重要であります。町民の方々が主体となって、規格外品野菜や捨てられてしまう部分を活用した取組事例もありますが、規格外品の野菜を扱うことは、農家さんにとっても、それを回収・運搬する業者にとっても、非常に多くのコストや労力がかかることから、良い仕組みを見出すことができていないのが現状です。</p> <p>ご提案内容を実現するには、上記の課題や販路の開拓、流通経路の構築など、クリアしなければならないハードルは多くありますが、実現可能性が高い要素をピックアップしながら、既存事業への取り入れなどを検討してまいります。なお、検討にあたっては、関係部署と連携しながら、実現可能な方法を模索してまいります。</p>

令和5年度「町民まちづくり提案事業」事業化に向けた検討の意見概要

No.52

<p>提案 事業名</p>	<p>自然を生かした藍染</p>
<p>回答者 (課名)</p>	<p>まちづくり推進課、商工観光交流課</p>
<p>主な 意見 の 概要</p>	<p>染め物は伝統的な日本の文化として、海外の方からも興味関心が高く、美瑛町内においても関心は高まりつつあります。気温の変化が激しい美瑛町においては、多種多様な植物が育ち、それらを上手く活用することは、美瑛の四季の美しさのPRにもつながるかと思えます。美瑛町の花を活用した商品開発ということで、これまでにあまり聞いたことがない新しい発想であると受け止めております。</p> <p>町では染め物の知識を持っていないため、独自での商品化は難しく、ご提案にあるとおり一般の事業者の皆さまに多大なご協力を得る必要がありますが、事業者の皆さまには当然それぞれの経営があるため、町として無償を前提に依頼することは難しく、それなりの経費(売り上げ)が必要になることが予想されます。</p> <p>このことから、事業化については慎重に進める必要がありますので、当面は、写真展の開催や自然ツアーの実施をもって美瑛の自然の美しさをPRしてまいります。</p> <p>今回のご提案のように、美瑛の良いところを生かしていくことは、今後のまちづくりを考える上で非常に重要なことです。町に住む方はもちろん、町を訪れる方々にも愛される美しい町であるよう、今後も努めてまいります。</p>